

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	千川さくらんぼクラブ			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 20日		～	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 20日		～	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	原則週5日の利用としていることから、利用者個々の継続した状態の把握をした上で支援を行うことができる。	毎日の職員間の打ち合わせや記録の共有を通して、継続した状態の把握と支援の検討に努めている。	ご家庭や学校、他の関係機関との連携をさらに強化していく。
2	年6回の幼児・児童支援部学習会実施を通して支援の質の向上に取り組んでいる。	情勢の確認をはじめ、今年度は「5領域」の内容とそのねらいについて学び、活動プログラムの見直しをすすめた。	ガイドラインに沿った活動プログラムを見直し、今後はその内容について検証していく必要がある。
3	同じ法人内に生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、共同生活援助事業所などの事業所を抱えており、必要に応じて連携を取りやすい環境にある。	活動中に近くの事業所に挨拶に行ったり、「さくらんぼ」卒業生に会いに行ったり、当法人の事業所に実習に行っている場合は情報共有したりなどを行っている。	「卒後」の生活をよりイメージできるよう計画的に事業所見学等を検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の未実施。	保護者の就業を支援するという当事業所の目的から保護者の負担を大きくしたくないという思いから開催していない。保護者会についてアンケートを実施したところ、「開催を望む」が2割、「どちらでもよい」が8割であり、時間的に難しいという意見が多かった。	個別の面談は実施しており、今回の評価でも「（保護者会）は求めている」との明確なご意見もあった。現時点では積極的に開催は検討していない。
2	地域の放課後児童クラブや児童館との交流や、他のこどもと活動する機会が少ない。	現在学校休業日に近隣の施設を利用する際に交流を持つ程度である。利用児や保護者からも特に希望はなく、事業所としても必要性は感じていない。法人内の「千川さくらんぼクラブ」（放課後児童健全育成事業）とは日常的に交流がある。	こどもだけではなく、日常生活場面でも社会と接する機会は十分に確保していく。また、様々な経験を積む機会を確保していく。
3	安全計画、危機管理マニュアル、BCP、感染対策指針、送迎安全マニュアル、虐待防止マニュアル等法人内で整備しているものの周知が徹底されていない。	保護者会を開催していないこともあり、個人面談においての説明のみで、全体に周知する機会を設けていない。	毎月発行している通信などで周知していく。